

平成23年度 事業報告書

ヘルパーステーション大慈

1. <法人ビジョン>

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. <基本方針>

介護を提供するプロとしての意識を十分に持ち、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ、自立した“安心・安全な生活”を営むことができる生活全般にわたる援助を行う。関係市町村、地域の保険・医療・福祉サービスとの機関との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

3. <長期目標>

◎ゲストが快適に穏やかな生活をする事ができるよう、ゲストの人権擁護に配慮し個々のニーズに合ったサービスの提供を実践する。

- ①質の高いサービスを提供できるよう、常に専門的知識、技術の習得と向上に努める。
- ②言語的・非言語的コミュニケーション技術を高める。
- ③職員会議・処遇会議など利用し職員間の研修を行う。

支援に当たってはミスや事故・苦情などが無いよう、注意を払いながら実施をしていたように感じるが、上半期の相談内容は職員に対してのものが多かった。職員の退職や傷病による休職などで人員配置が難しく、業務優先になりがちであったこと、ゲストへの気遣いや職員間の引継ぎなど足りなかった結果と考える。またアンケートの結果でも職員とのコミュニケーションが取れていないと感じるゲストも多数あった。それを踏まえて少しでも良いサービスを提供するために、タイムテーブルを見直したり、個別化や自立を目指すことをしたり、相談員業務、ケアマネ業務の職務が出来るような体制を取るなど対策を行った。枠組みは出来上がったものの、下半期では傷病職員の再度の休職、新人職員の退職などもあり、業務を行うのも難しい状態になっている。そのような中で、ゲストに対して質の高いサービスを提供するということも、コミュニケーションを図るということも、中途半端になってしまった。来期には介護度の高いゲストに対して、デイの入浴サービスを利用したり、シルバー人材派遣に居室掃除、シーツ交換を委託するなどの対策を構じて、人員を安定させサービスの質の向上を図る。職員間研修に関しては会議などでミニ研修をおこなっている。それぞれの係りの研修での報告や、自ら勉強したことなどを共有しあった。その結果、職員間で殆どの職員が意見など、言い合えるようになったことは大きい成果であった。

4. <事業の実施地域>

養護老人ホーム大慈吉祥園内とする。

5. <相談苦情の対応>

大慈吉祥園に準ずる。

6. ≪総括≫

ケアカンファレンスは定期的に行い、ご家族・ご本人とも十分な話し合いが出来たと思われる。緊急時、延命や死後に関して、どうされたいかなど、確認事項など全ゲストに対して話を伺えた。

処遇会議やミニカンファレンスを通して、個別ケアが出来るようになってきてはいるが、現在の体制では無理が生じている。4月より新たに学習療法、園芸療法、シルバー体操やニコニコツアーなどが始まるため、一日も早く体制を整える必要がある。

4月からの制度改正に関して、養護では特に大きな変化はないが、これまで以上のサービスを提供出来るよう研鑽に努める。また、介護度の高いゲストがデイ入浴サービスを利用されることもあり、減収が予想される。

今後も変更申請など、今以上にこまめに行うと同時に、介護報酬100%とれるようにしていきたい。